

頁

- 5 荊芥連翹湯の図 枳殻 → 枳実
- 7 補中益気湯の図 陳皮——理気と胃→陳皮(理気)・生姜・大棗——和胃
- 11 半夏白朮天麻湯図 神曲・麦芽——消食→麦芽——消食
// 図の最後に 乾姜——温中散寒 を追加
- 11 竹茹温胆湯図 () 内、茯苓と甘草の間に生姜を加える
柴胡を除く
- 12 加味逍遥散図 白朮と炙甘草の間に生姜を加える
- 20 補中益気湯図 陳皮——理気と胃→ 陳皮(理気)・生姜・大棗——和胃
帰脾湯図 木香——理気→ 木香(理気)・生姜・大棗——和胃
七物降下湯図 七物降火湯→ 七物降下湯
- 21 半夏白朮天麻湯図 二陳湯 () 内の甘草を除く
図の最後に 黄柏——清熱燥湿 を加える
下から9行目 甘草 削除する
- 31 帰脾湯図 1行目 茯苓を除く
3行目 茯苓→ 茯苓(滲湿)
- 35 香砂六君子湯図 六君子湯 () 内の陳皮の後ろに 生姜・大棗 を加える
- 36 釣藤散図 3行目 化痰理気・和胃
- 48 小青竜湯図 桂枝・芍薬の後ろに ・甘草 を加える
葛根加川芎辛夷湯→ 葛根湯加川芎辛夷
- 50 下から11行目と最後の行 葛根加川芎辛夷湯→ 葛根湯加川芎辛夷
六君子湯図 四君子湯 () 内に ・大棗・生姜 を加える
二陳湯 () 内に ・生姜 を加える
- 51 表の「方剤」2行目・本文下から6行目 葛根加川芎辛夷湯→ 葛根湯加川芎辛夷
- 55 柴胡清肝湯図 荊芥連翹湯—白芷・枳実・防風・荊芥 を追加
柴胡清肝湯の説明文 白芷を去り→白芷などを去り
竜胆瀉肝湯図 最後に 甘草——調和 を加える
- 56 3行目 湿が停滯が多い → 湿の停滯が多い
- 57 表 「方剤」2行目 葛根加川芎辛夷湯→ 葛根湯加川芎辛夷
- 61 神秘湯図 最後に 甘草——調和 を加える
- 63 清肺湯図 1行目 桑白皮(平喘)の後に、竹茹(化痰) を加える
4行目 茯苓→ 茯苓(滲湿)・生姜・甘草・大棗
健脾滲湿→健脾和胃
- 64 二陳湯図 甘草——和中 → 甘草・生姜——和中
- 66 滋陰降火湯図 5行目 白朮——健脾化痰 →白朮・甘草——健脾和胃
説明文7行目 咳がある場合→ 喘がある場合
- 69 7行目 心房顫動→心房細動

- 72 帰脾湯図 3行目 遠志の後ろに **大棗** を加える
4行目 木香——行気→ **木香(理気)・生姜——和胃**
- 79 竹茹温胆湯図 二陳湯 () 内の茯苓と甘草の間に **生姜** を加える
- 92 天王補心丹図 人参→**党参**
- 108 竹茹温胆湯図 二陳湯 () 内の茯苓と甘草の間に **生姜** を加える
最後の行の **大棗・生姜** を除く
- 120 四君子湯図 最後の行 炙甘草の前に **生姜・大棗** を加える
- 122 補中益気湯図 1行目 **党参**→**人参**
2行目 陳皮のあとに**(理気)・生姜・大棗** を加える
理気和胃→和胃
- 123 表 芍薬甘草湯「胃痛にともなう症状の特徴」 各種のみ→各種の**痛み**
- 129 開気丸 1行目 枳殻→**枳殼**
2行目 縮豆蔻 → **白豆蔻**
- 133 竜胆瀉肝湯の説明文 10・11・15行目 「竜肝瀉肝湯」→「竜**胆**瀉肝湯」
- 139 香蘇散図 3行目 甘草の後ろに **・生姜** を加える
- 140 藿香正気散図 2行目 茯苓の後ろに **・生姜** を加える
3行目 白朮——健脾燥湿→ 白朮(**燥湿**)・甘草・大棗——健脾和胃
胃苓湯図 平胃散 () 内の陳皮の後ろに**・生姜・大棗・甘草** を加える
- 142 柴苓湯図 2行目 人参と甘草の間に **大棗** を加える
逍遙散図 2行目 白朮・茯苓の後ろに **甘草** を加える
- 144 香砂六君子湯図 1行目 茯苓と炙甘草の間に **大棗・生姜** を加える
補中益気湯図 **党参** → **人参**
- 152 防風通聖散図 の最後に **白朮——健脾燥湿** を加える
「熱秘に用いる方剤」表 防風通聖湯 → 防風通聖**散**
- 154 六君子湯図 4行目 甘草の後ろに **・生姜・大棗** を加える
補中益気湯図 3行目 炙甘草の後ろに **・生姜・大棗** を加える
- 155 黄竜湯の図 最後の行 桔梗 → 桔梗**3** に
- 161 上の図 痰疑 → 痰**凝** に
- 163 疏経活血湯図 3行目 桃仁・牛膝に (**去風湿**) を加える
4行目の牛膝を除く
6行目 陳皮・茯苓(湿疹)→陳皮(**理気**)・茯苓(湿疹)・**生姜・甘草**
- 165 二朮湯図 二陳湯 () 内 茯苓3と甘草3の間に **生姜3** を加える
- 168 大防風湯図 1行目 黄耆の後に **大棗** を加える
4行目 **熟地黄** を除く
5行目 防風のあとに **乾姜** を加える
- 174 補中益気湯図 1行目 炙甘草の後ろに **・大棗** を加える
3行目 陳皮——**理気**和胃→ 陳皮(**理気**)・**生姜——和胃**
- 185 啓脾湯図 5行目 **生姜** を除く
- 199 補中益気湯図 2行目 炙甘草と(調和)の間に **・生姜・大棗** を加える

- 207 帰脾湯図 3行目 茯苓の後ろに ・大棗 を加える
4行目 木香の後ろに ・生姜 を加える
- 217 温経湯図 4行目 生姜を除く
最後に 半夏・生姜——和胃化痰 を加える
- 226 消風散図 4行目 麻子仁 → 胡麻 に
防風通聖散図 7行目 甘草——清熱和胃 → 白朮・甘草・生姜——和胃 に
- 227 血熱に用いるエキス剤表
- | | | | |
|------|---------------|---------|------|
| 清熱解毒 | 柴胡清肝湯の牛蒡子の後ろに | 甘草 | を加える |
| // | 荊芥連翹湯の連翹の後ろに | 甘草 | を加える |
| // | 清上防風湯の連翹の後ろに | 山梔子, 甘草 | を加える |
| 排膿 | 荊芥連翹湯の空白の所に | 桔梗 | を加える |
- 229 当歸飲子図 4行目 黄耆の後ろに 甘草 を加える
- 229 「肝腎不足型」の症状の「脈沈」の上に
◇舌淡——肝腎不足を意味する虚証の舌象である。 を加える
- 233 補中益氣湯図 1行目 白朮と炙甘草の間に 生姜・大棗 を加える
- 234 桂枝加朮附湯図 1行目右側 調和衛營→調和營衛
- 245 加味逍遙散図 2行目 茯苓の後ろに ・生姜・甘草 を加える
- 251 六君子湯図 2行目 茯苓と甘草の間に ・生姜・大棗 を加える
- 263 海馬補腎丸図 2行目 鹿腎 →鹿筋 に
下から3行目 老年性痴呆症→老年性認知症 (以下, 痴呆症→認知症)
- 264 四君子湯図 最後の行 炙甘草の前に 大棗・生姜・炙甘草——調和 に
- 265 補中益氣湯図 1行目 白朮と炙甘草の間に ・生姜・大棗 を加える
- 266 下から11行目 アルツハイマー→アルツハイマー病
下から3行目 癌のど) →癌など)
- 268 3行目 半夏白朮湯 →半夏白朮天麻湯
- 276 補中益氣湯図 3行目 炙甘草の後ろに ・生姜・大棗 を加える